

県大で考える 〈いのち〉、〈生きる〉、そして〈人としての尊厳〉ということ
— 私たちが向き合ふべき人類社会の課題 —

C 学術講演会

ドキュメンタリー映画 Atomic Mom と制作秘話 — 科学といのち、核と平和、母と娘の葛藤

講師：M.T. シルヴィア氏

(ピクサー・アニメーション・スタジオ シニアマネジャー)

※英語による講演・日本語同時通訳あり

日時：2019年1月23日(水) 13:00～14:30

会場：愛知県立大学 長久手キャンパス K棟 小ホール

定員：先着50名 入場無料・申込必要



Atomic Mom (監督 M.T. シルヴィア)

原爆により人生を左右された日米二人の女性を軸とするドキュメンタリー映画。一人は第二次大戦後、科学者として核開発に携わったポーリーン・シルヴィアさん。そしてもう一人は広島で被爆した岡田恵美子さん。海軍の生物学者として携わったネバダ核実験場での経験からポーリーンは何十年を経た今も良心の呵責に苛まれていた。しかし、軍の機密であることから、守ってきた沈黙。ポーリーンが79歳にして初めて娘のM.T. シルヴィアに語った過去とは—。原爆の犠牲者となった岡田さんとの交流とは—。

プロフィール

1974年に高校卒業後、1980年代の大半を反核運動活動家として過ごす。その後、15年間にわたり映画業界でプロのエンジニアとしてフリーの映画製作に取組んだ。現在、カリフォルニア州アラメダ郡エメリービル市に拠点を置くピクサー・アニメーション・スタジオに勤務し、シニアマネジャーを務める。カリフォルニアの東オークランドのあるコミュニティの隣人関係を描いた2002年の“Picardy Drive”は、彼女の最初のドキュメンタリー映画である。



募集期間 | C: 1月18日(金)まで

申込方法 | 裏面をご覧ください、①E-mail、②往復はがき、③本学 Web 申込みシステム
のいずれかの方法でお申込みください。

お問合せ 愛知県立大学 研究支援・地域連携課

電話 0561-76-8843

メール kenkyu@bur.aichi-pu.ac.jp

愛知県立大学 グローバル学術交流

県大で考える 〈いのち〉、〈生きる〉、 そして 〈人としての尊厳〉 ということ — 私たちが向き合うべき人類社会の課題 —

特別授業及び学術講演会

A：11月30日（金） 講師 金満里氏

B：12月12日（水） 講師 小出裕章氏

C：1月23日（水） 講師 M.T.シルヴィア氏

■申込方法

A：11月28日（水）まで、B：12月7日（金）まで、C：1月18日（金）までに、以下の①～③のいずれかの方法により、お申込みください。

①E-mail

希望の企画（A、B、C）、氏名（ふりがな）、電話番号を明記のうえ、以下の申込先までお申込みください。

②往復はがき

希望の企画（A、B、C）、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号を明記のうえ、以下の申込先までお申込みください。

③本学 Web 申込みシステム（<http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/>）

本学地域連携センター Web サイトにアクセスし、グローバル学術交流事業特設ページより申込みメールフォームに必要な情報を入力してください。

■お問合せ・申込先

〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間 1522-3

愛知県立大学 研究支援・地域連携課

電話 0561-76-8843（電話での申込みはできません）

メール kenkyu@bur.aichi-pu.ac.jp



交通アクセス

- 地下鉄「藤が丘」駅から八草行きリニモ（東部丘陵線）約13分
「愛・地球博記念公園」駅下車 北へ徒歩5分
- 愛知環状鉄道「八草」駅から藤が丘行きリニモ（東部丘陵線）約3分
「愛・地球博記念公園」駅下車 北へ徒歩5分

駐車場には限りがあります。公共交通機関をご利用ください。

